

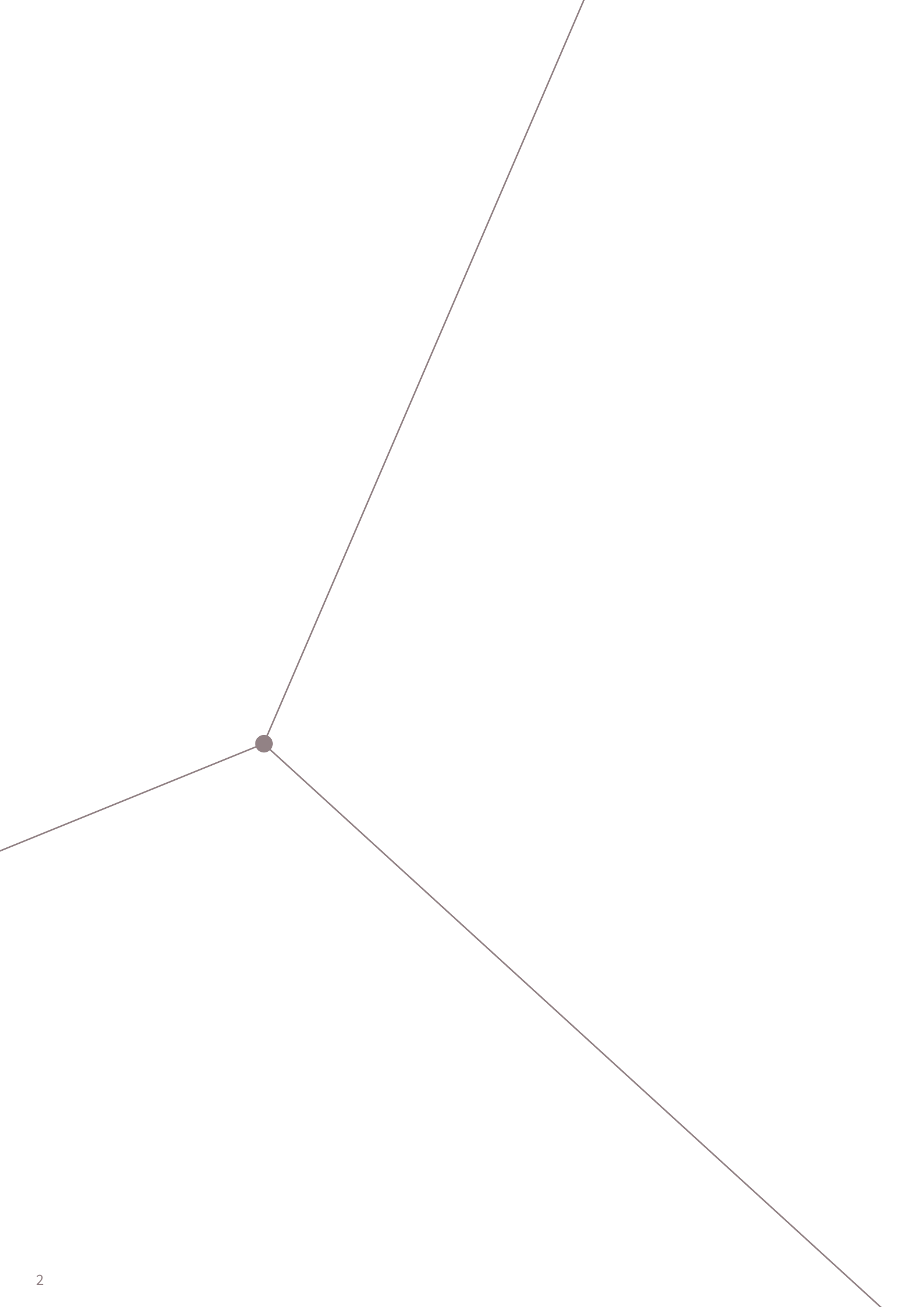
企業行動指針

Infineon倫理規定

Business Conduct Guidelines

Infineon’s code of ethics

JA www.infineon.com



内容

1. 経営陣からのメッセージ 5
2. 前書き 7
3. 法令を遵守し、約束を守る 8
4. 市場参加者として公正に振舞う 11
4.1 競争法および反トラスト法を遵守する 11
4.2 汚職行為を拒否する 11
4.3 高価な贈答品や招待を受けるのはあくまで例外とする 11
4.4 利害の対立をオープンに扱う 12
4.5 ビジネスパートナーを慎重に選ぶ 13
4.6 資金洗浄を防止する 13
4.7 輸出管理に関する法律を遵守する 13

5. 互いを尊重する 14
5.1 人権と基本的な社会権を守り、保護する 14
5.2 オープンで互いを尊重する従業員文化を促進する 14
5.3 率先して見本を示す 16
5.4 従業員代表組織を尊重する 16
5.5 職場での健康と安全を推進する 16

6. 会社の設備や情報の取り扱いに注意する 19
6.1 Infineonの所有物を注意して扱う 19
6.2 Infineonの知的財産を保護する 19
6.3 会社の機密情報を保護する 19
6.4 Infineonをサイバー脅威から保護する 20
6.5 データ保護および情報セキュリティに関する法規に従う 20
6.6 文書の透明性、開示性、信頼性を推進する 20
6.7 内部者として知り得た情報を悪用しない 20

7. 社会的責任を誠実に果たす 23
7.1 持続可能性、品質、製品の安全性に取り組む 23
7.2 環境を保護する 23
7.3 社会貢献に取り組む 23

8. 企業行動指針を確実に遵守する 24
8.1 BCGに関するトレーニングに定期的に参加する 24
8.2 不正行為を見つけた場合は積極的に報告する 24
8.3 不正行為に対して公平かつ公正な手段で措置を取る 26
8.4 InfineonのBCGについての問い合わせ先 26


Multicopter –
transport of the future
Infineon

企業行動指針

従業員各位

信頼に足るパートナーであること。これは、Infineonがビジネスパートナー、投資家、従業員、一般市民に対して約束していることです。当社が信頼を得ているのは、この約束があるからこそです。皆さんの個人としての責任感と誠実さを頼りに、この約束を守れると確信しています。

しかし、さまざまな状況で法律を守り倫理に基づいて行動するにはどうすればよいでしょうか?この企業行動指針は拘束力のある原則として、職務を遂行するうえで自律的な意思決定を下す指針となります。これらのガイドラインに従うことで、個人として、また会社として不適切な行動を防ぐことができます。

ただし、当社は日々の活動も促進したいと考えています。実務を支えているのは従業員の良識です。何か迷うことがある場合は、次のように自問してみるとよいでしょう。

› 私は利己的に振舞わず、適切に行動しているか?
› 私の行動または意思決定は合法か?企業行動指針やその他の社内規定の精神と字義に従っているか?
› 私の行動または意思決定は、高い倫理基準を持つ企業としてのInfineonの評判を守っているか?
› 私の行動または意思決定は「世間体テスト」に合格するか(世間やソーシャルメディアでInfineonの良いイメージが伝わるか)?

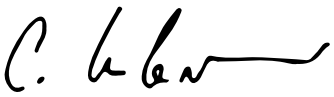
これらの質問に対する答えが「はい」であれば、適切な意思決定であると考えてよいでしょう。特定の状況で迷いが生じた場合、マネージャまたはコンプライアンス責任者(Compliance Officer)に問い合わせてください。

Infineonが成功を収めるには、従業員一人ひとりの行動が大切です。たった1人の従業員が不適切な行動を取るだけでも、Infineonに大きなダメージをもたらし、損害を発生させる恐れがあります。仕事中に企業行動指針に留意することで、現在の法律を守り、社内の基準に従って行動することができます。

この企業行動指針をよく読み、日々の行動、業務に関する行動や意思決定の指針としてください。企業としての成功に加え、責任ある行動を取り、そして約束を守ることができます。

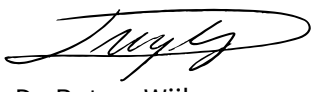
皆さんのご協力に感謝します。


Jochen Hanebeck


Constanze Hufenbecher


Dr. Sven Schneider


Andreas Urschitz


Dr. Rutger Wijburg

概要

› 企業行動指針（BCG）は世界各地のInfineon全従業員に適用される
› 法律および倫理に関する疑問への回答を示す



2. 前書き

当社は顧客や株主、ビジネスパートナー、従業員、一般市民に対し、誠実さをもって対応します。

これらのガイドラインは、法律および倫理に関する疑問に答えるための重要法規の概要を提供します。BCGを毎日の活動の指針とする必要があります。そうすることではじめて、法律を守り責任ある行動を取るという当社の目標を達成できます。

BCGはInfineon、Infineon Technologies AG法人、および世界各地の関連企業で働くすべての従業員に適用され、絶対的な拘束力を持ちます。ただし、日々の業務で発生するすべての疑問に答えることは本質的に不可能です。そのため、BCGの精神と字義に従い、合法であるだけではなく、倫理的に適切であることを目指す必要があります。

3. 法令を遵守し、約束を守る

法律違反は、罰金や賠償請求、評判の低下や失墜といった大きなダメージを世界的規模で企業に、そして従業員個人にもたらす可能性があります。

したがって、どこでも常に法律を遵守することが第一の義務です。合法的な行動が常に絶対的に優先されます。これは、個人がその行動について、非生産的ではないかと考えたり、業務または財務目標に沿わないかもしれないと考えたりする場合も同様です。

Infineonの従業員がこれに違反した場合、雇用中の義務を怠ったものとして懲戒処分の対象となります。深刻な場合には、解雇につながる可能性もあります。

当社の品位は価値ある資産です。そのため、法律を守る以上に、倫理基準にも従う必要があります。当社は確実に提供できることのみを約束し、その約束を果たします。顧客、投資家、仕事仲間の信頼を獲得するには、当社の製品、サービス、コミュニケーションの信頼性と品質が非常に重要です。開発や製造の品質面で妥協するなどして、この信頼を裏切れば、たとえ些細な問題であるように見えても、当社全体の成功が危うくなります。



概要

› 現行の法律は拘束力を持つ枠組みである
› 法規に違反した場合は何らかの処罰が下される
› 約束を守る

概要

› 公正な競争を最重視する
› 常に反トラスト法および競争法を遵守する
› 競合他社との接触は、必ず通知すること
› 不正行為はInfineonの文化と相容れない
› 高価な贈答品や招待を受けるのはあくまで例外とする
› 利害の対立の可能性がある場合は透明性を確保する
› 競合企業での副業または競合企業との協力を行わない
› ビジネスパートナーを精査する



4. 市場参加者として公正に振舞う

4.1 競争法および反トラスト法を遵守する

当社はすべての市場参加者の利益のため、公正な競争を確約します。すべての従業員は、ビジネスパートナーまたはサードパーティとの取引において、競争法および反トラスト法を遵守する義務を負います。例外を設けず、違反は許されません。

競合企業、顧客、供給業者、販売業者と市場の競争を制限する協定を結ぶことを固く禁じます。市場における独占的地位を濫用することも禁止します。不正な情報交換のリスクが高いため、競合企業との特定の接触についてはコンプライアンス部門に通知する必要があります概要については、グローバル規則「反トラスト法」を参照してください。

4.2 汚職行為を拒否する

当社は不正な手段ではなく、製品の品質とサービスの価値によって競争に勝ち、顧客を獲得することを望んでいます。汚職行為は当社の価値観とは相容れず、許されません。汚職行為の疑いを持たれることも常に注意して避ける必要があります。Infineonは、汚職行為に対抗するために国内および国際的取り組みを支持します。いかなる形であれ、当社は賄賂を拒否します。

当社のすべての従業員は、自社の関係を自己またはサードパーティに有利になるように悪用し、Infineonに悪影響をもたらしてはなりません。業務上の意思決定の客観性が損なわれる可能性があるため、サードパーティから私的便益（金銭、サービス、値引きなど）を得ることを禁じます。
政府組織との接触においては、受注またはInfineonにとって有利な立場を得ることを目的として、職員に金銭の支払いまたはいかなる便益の提供を行いません。職員またはビジネスパートナーから私的便益の要求または申し出があった場合は、いかなる状況でも同意してはならず、マネージャおよびコンプライアンス部門に直ちに連絡する必要があります。規程の詳細については、グローバルルール「汚職防止」を参照してください。

4.3 高価な贈答品や招待を受けるのはあくまで例外とする

贈答品を受け取ってよいのは、現地の法制度で許可されており、意志決定が影響されない、または影響されたと見なされない場合のみです。イベント、昼食、夕食への招待、その他いかなる便益についても同様です。

個人と会社を保護するため、重大な事態になりかねない事柄については、事前に担当の「コンプライアンス責任者(Compliance Officer)」または権限を付与された担当者の承認を得る必要があります。概要については、グローバル規則「贈答品と招待」を参照してください。

贈答品やその他の便益は、現物給付として所得税の対象になることがあります。適用されるすべての税法に従う必要があります。

4.4 利害の対立をオープンに扱う

当社はすべての従業員の個人的な利益や私生活を尊重します。個人的な利益と企業の利益の対立、あるいはそのような印象を与えることを避けるために最大限の注意を払います。従業員は、業務上の意思決定における潜在的な利害の対立をマネージャに開示する必要があります。また、業務上の意思決定が個人的な利益や関係の影響を受けてはなりません。次に具体的な内容を示します。

参加持分を開示する

次に当てはまる場合、Infineonの従業員は積極的にマネージャおよび人事部に書面で通知する必要があります。

- 競合企業の直接的または間接的な参加持分を保持または取得しており、その競合企業の経営に影響力を持つ場合
- Infineonのビジネスパートナーの直接的または間接的な参加持分を保持または取得しており、そのビジネスパートナーと業務上の取引がある場合

関係者（家族など）がそのような参加持分を保持または取得する場合も同様です。

社外業務を開示する

報酬を得ている社外業務や他社への参加（役員会、理事会、監査役会など）について、マネージャに報告して承認を得る必要があります。承認は、次の場合に拒否されることがあります。

- 従業員の業務に悪影響を及ぼす場合
- 従業員のInfineonでの職務の障害となる場合
- 利害の対立のリスクがある場合

Infineonと直接的または間接的な競合関係にある企業での直接的または間接的ないかなる活動も禁じます。

不定期の著述、講義、慈善活動は社外業務とは見なされません。

4.5 ビジネスパートナーを慎重に選ぶ

当社はビジネスパートナーも商取引において誠実に行動することを求めます。そのため、必要に応じて、ビジネスパートナーを精査し、法令遵守と、Infineonが考える人権保護や社会的基準への適合のための対策を行っているかどうかを確認します。国内の法律や国際協定への違反、正体や所有構造の隠蔽、資金洗浄、テロリストへの資金提供を行うパートナーや、そのような状況を是正するための適切な努力を怠るパートナーとは取引を行いません。

当社は、供給業者に対し、当社の「供給業者の行動規範」（旧「購買原則」）に定める要件を満たすことを求めます。

4.6 資金洗浄を防止する

資金洗浄、つまり不正な方法で獲得した資金を、交換や譲渡によって合法的なビジネスおよび財務システムに投入することは、多くの国で犯罪とされています。Infineonではすべての従業員が、職場での資金洗浄に関するドイツおよび海外の法規に従う義務を負います。これには、取引前に、契約上のパートナーのビジネス環境、契約上のパートナー自体、行おうとする商取引の目的について十分な情報を得ることが含まれます。金銭のやりとりの可否について疑わしい点や不審な点がある場合は、直ちに担当の「コンプライアンス責任者（Compliance Officer）」に相談する必要があります。

4.7 輸出管理に関する法律を遵守する

当社は取引を行う国の輸出管理および関税規則に従います。商品、サービス、ハードウェア、ソフトウェア、テクノロジーの輸出入、移動を担当する従業員は、現行の認可プログラム、輸出管理、関税に関する法規、業務上のガイドラインおよびプロセスに従う義務を負います。

5. 互いを尊重する

5.1 人権と基本的な社会権を守り、保護する

当社は人権の尊重と保護に真摯に取り組んでおり、人権、労働基準、環境および不正防止に関する国連グローバル・コンパクトの原則に従っています。

また、国際労働機関（ILO）の規約に定められた次の基本原則を守り、推進しています。

› 従業員の選抜、採用、任命、昇進における差別の防止
› 従業員代表組織を作る権利
› 児童労働、および何らかの形での強制労働の拒否

当社は現地の法規の要求事項に従い、地域の状況に応じて特に次のものを与えています。
› 公正な給与と付加給付
› 合理的な労働時間
› 有給休暇

当社は、法定年齢に関する規制と未成年者の雇用を防止する特別な規制に従っています。

5.2 オープンで互いを尊重する従業員文化を促進する

従業員同士の協力の根底には、互いを尊重する心があるべきです。Infineonでは110か国の従業員が働いています。Infineonが国際企業として際立つ成功を収めることができたのは、この多様性があるからこそです。

当社は、すべての従業員が差別とハラスメントに対する当社のゼロトレランスポリシーに従うことを期待しています。

種族的出身、皮膚の色、国籍、信仰、信条、性別、年齢、身体障害、婚姻関係、社会的出自、団体や政党への所属、外観、性同一性、性的指向を理由として、個人が攻撃、不利益、嫌がらせ、除外を受けることがあってはなりません。あらゆる形の差別、性的嫌がらせ、身体的暴力、身体的強制、言葉による虐待に対して、当社は断固たる処置を取ります。

プロ意識を持った業務遂行は、尊重、信頼、寛容、公平に基づく就業環境があってはじめて可能です。

従業員の選抜、採用、昇進、異動、報酬、評価、トレーニングなどの人事決定においては、機会均等の原則と、資格や業績などの基準に従います。



概要

- 人権と社会的権利の遵守
- 互いを尊重し、模範を示す
- 率先して見本を示す
- 従業員代表組織を尊重する
- 予防医療および職場での安全を推進する

5.3 率先して見本を示す

当社は、従業員の個人また職業人としての可能性を広げるような環境を作り出したいと考えています。上役にある者は、優れた業績や成果を達成するための力を部下に与える必要があります。そのため、当社はマネージャにロールモデルとして振舞うことを求めます。マネージャはその働きぶり、オープンさ、社会的スキルを通じて部下を指導し、良好な職場環境を確保しなければなりません。

マネージャは部下を信頼し、できるだけ多くの個人的責任と自由裁量を与えます。現実的な範囲で高く明確な目標を設定し、従業員が達成した成果を認め、自由にアイデアやイノベーションを生み出せるようにします。管理義務の一部として、許容されない行為を防止し、自己の責任範囲内でのしかるべき注意と監督によって回避可能な規制違反を防ぐ責任を負います。

5.4 従業員代表組織を尊重する

当社は従業員が労働条件について団体交渉を行うための従業員代表組織を作る権利を尊重し、認めています。各地の経営陣と従業員代表組織が、互いの信頼のもと、緊密に協力しなければなりません。これは、利益の公平なバランスを実現するための建設的で協調的な対話の基礎となります。

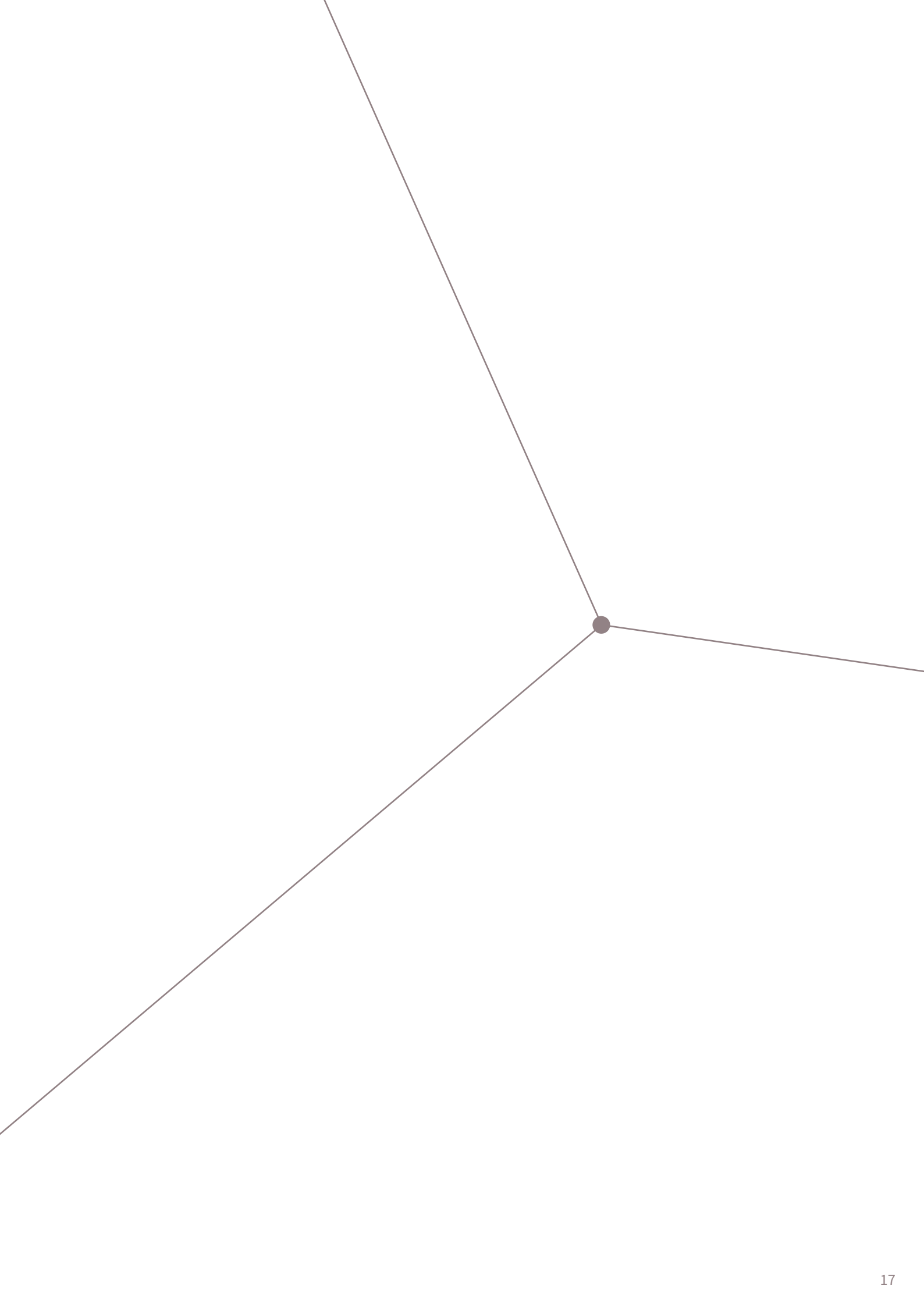
紛争が起こった場合も、職場での持続可能な関係の維持に努めます。

5.5 職場での健康と安全を推進する

職場での安全を確保し、従業員の健康の促進と維持に努めることは企業の重要な目標です。当社では労働環境の継続的改善とさまざまな予防および健康管理キャンペーンを通じて、これらの目標達成に取り組んでいます。

個人の健康に関する知識を強化することが、全員の業績と仕事の満足度を維持することにも役立つ機会になると考えています。健康と職場での安全は、従業員の個人的な行動によって大きく影響されます。すべての従業員は、慎重に行動することで自らリスクを避け、職場の安全に関する不足や欠落をマネージャに報告する義務を負います。

また、当社では、適切なワークライフバランスを実現できるような労働環境作りにも取り組んでいます。



概要

› 会社の所有物を注意して扱う
› 文書を透明性のある方法できちんと管理する
› データ保護要件を常に守る
› 会社の機密情報を保護する
› 内部者として知り得た情報を悪用しない



6. 会社の設備や情報の取り扱いに注意する

6.1 Infineonの所有物を注意して扱う

Infineonの資産には、作業用の機器や設備も含まれます。当社はこれらの設備を適切に慎重に取り扱い、紛失、盗難、損傷、悪用のないように保護しています。設備は業務目的でのみ使用します。ときどき個人的に使用する程度であれば許容範囲内ですが、社内の方針に沿っていること、犯罪や規制違反、企業秘密の漏洩につながらないことが条件です。

憎悪、暴力やその他の犯罪行為への称賛をあおる情報や、各自の文化的背景を性的に攻撃する内容を含む情報をダウンロードまたは拡散することを禁じます。

6.2 Infineonの知的財産を保護する

会社の知的財産は商業的成功の中核を成すものです。したがって、特許やブランド名、技術的ノウハウなどの知的財産権を保護することは、すべての従業員の第一の義務です。当社は競合企業やビジネスパートナーの知的財産を認め尊重し、それぞれの明示的な許可がある場合、または法的に許可されている場合のみ知的財産を使用します。

6.3 会社の機密情報を保護する

すべての従業員は、業務で取り扱う、または職務上知り得た企業秘密、営業秘密、その他の非公開情報を守る義務を負っています。この義務の対象は、組織の概要や、ビジネス、製造、研究開発、企業に関する数値など、未公開のあらゆる社内情報に及びます。メディアやアナリストからの問い合わせを受けた場合、それぞれの広報または投資家向け広報部門に渡す必要があります。外部に対しInfineonの代表として行動する者、またその許可を得ていなくてもInfineonの代表者と見なされる可能性がある者は、個人の立場の行動であることを明言する必要があります。

これは特にソーシャルメディアでの活動に当てはまります。Infineonのソーシャルメディアに関するガイドラインに従う必要があります。

当社は、他の企業の企業秘密や営業秘密も尊重し保護します。サードパーティから得た情報を使用するのは、一般公開されている情報源から入手した場合、またはその他の合法的手段で入手した場合のみです。

6.4 Infineonをサイバー脅威から保護する

当社は、保護する必要のあるデータや情報の機密性、完全性と可用性、検証可能性、追跡可能性を確保するサイバーセキュリティの十分な水準と文化を守ります。

当社は、責任をもって役割に応じて対応するプロセスを積極的にサポートし、サイバーセキュリティに関する会社規則に定められた基準に沿って活動します。

6.5 データ保護および情報セキュリティに関する法規に従う

(従業員、顧客、供給業者の)個人データの保護は優先すべき重要事項です。当社は、法律、規制、社内ガイドラインおよびポリシーで許されている範囲でのみ、個人データを記録、処理、使用します。当社のすべての従業員は、当社に委託された個人データを保護するために、データ保護に関する法令および社内規則を遵守する義務があります。規定の概要については、グローバルルール「データ保護」を参照してください。

不審な点がある場合は、担当のデータ保護責任者に問い合わせてください。

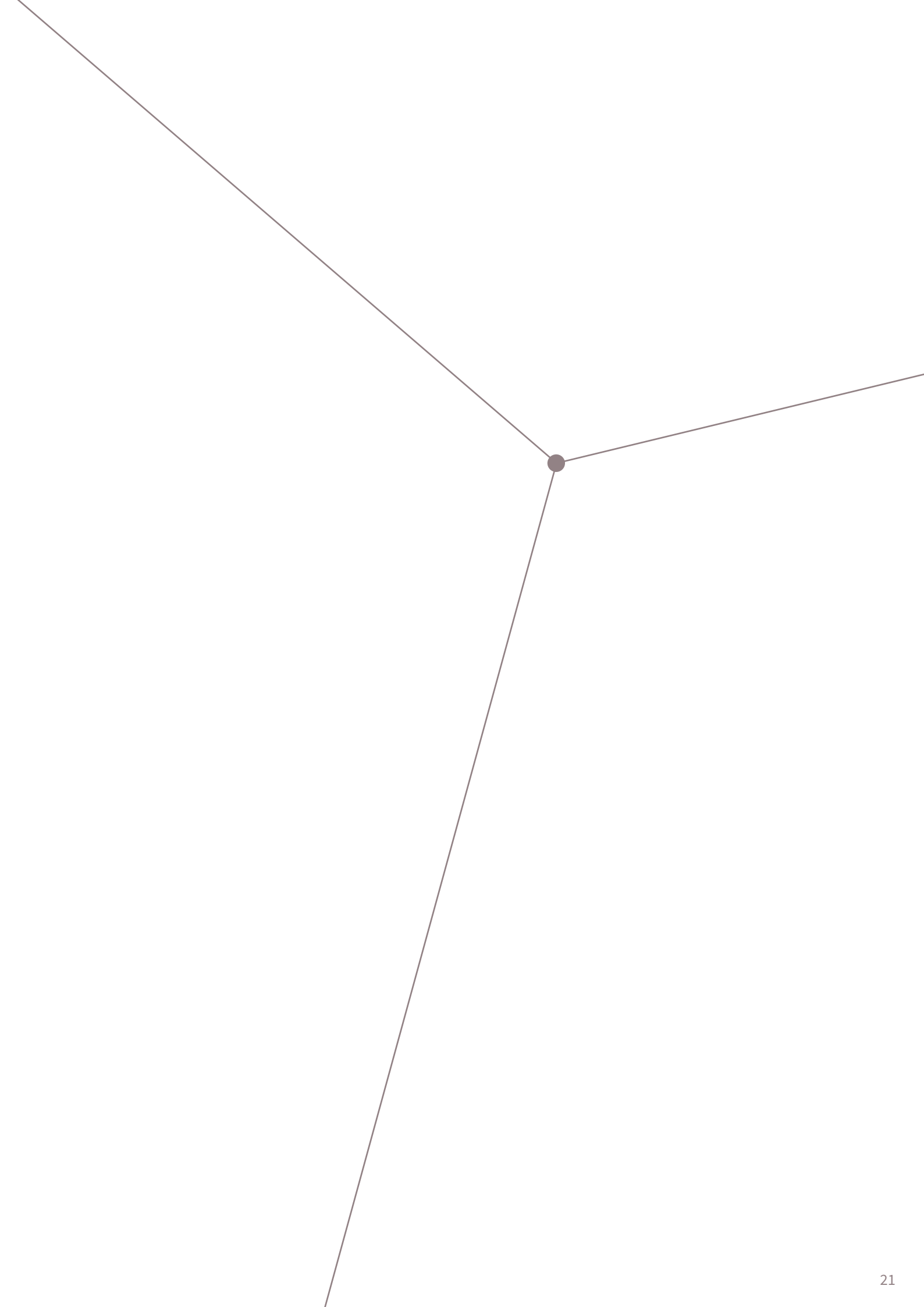
6.6 文書の透明性、開示性、信頼性を推進する

当社のグローバルな活動が投資家に信頼されるのは、透明性、開示性、信頼性があってこそです。そのため、当社は適切な会計および財務報告のための法定要件に従っています。社内での使用または外部への配布を目的として作成したあらゆる記録および報告書は虚偽がなく、完全で、理解可能なものである必要があります。データやその他のレコードは常に完全、正確、最新で、システム要件を満たしていなけれ ばなりません。正しい情報を提供する義務は、特に出張費などの経費の会計にも当てはまります。

6.7 内部者として知り得た情報を悪用しない

Infineonは内部者(インサイダー)取引を許しません。内部者情報に触れた者は、責任を持って、グローバルルール「インサイダー取引に関する法規」に従って、その情報を扱わなければなりません。内部者情報とは、公衆に広く知られていない状況に関して、上場有価証券の価格に大きく影響する可能性のある具体的な情報を指します。

内部者情報を利用して有価証券を購入または売却したり、購入または売却を勧めたりすることは、法律により禁止されています。この禁止事項への違反は、当該従業員だけではなく、Infineonにも重大な結果をもたらす恐れがあります。そのため、内部者情報は機密情報として扱い、他の従業員、家族、友人に対しても正当な理由なく開示してはなりません。





概要

› 持続可能な、環境に配慮した方法で活動する
› 社会環境に対する責任を引き受ける
› 社会貢献のための一般的な条件に従う

7. 社会的責任を誠実に果たす

7.1 持続可能性、品質、製品の安全性に取り組む

Infineonは現世代および後継世代の経済、環境、社会のニーズに対する責任を引き受け、持続可能な方法での活動に取り組んでいます。そのため、自社製品の品質の絶え間ない管理および改善を特に重視しています。従業員には、潜在的リスクに責任を持って対応し、マネージャに報告することを求めます。

7.2 環境を保護する

天然資源の保全は当社の企業戦略に欠かせません。当社は、誰もが利用でき、多くの利点をもたらす省エネ型テクノロジーによって、便利で安全な、環境に配慮した暮らしを実現します。エネルギー効率に優れたテクノロジーおよび製品の発展は、当社の資源保全活動の中核的要素です。個々の活動の中でも、環境への影響を考慮し、環境への負担を避け、最小限に減らすことが当社の義務です。

当社は、環境と気候を保護するための法律および規制を厳格に遵守し、当社の直接および間接の供給業者も同様に行動することを期待しています

7.3 社会貢献に取り組む

Infineonは責任あるコーポレートガバナンスには、社会貢献（コーポレートシチズンシップ：社会の一員としての企業の責任、義務）も含まれていると考えています。次の分野の非営利組織やイニシアチブを支援しているのはそのためです。

› 環境保護と持続可能性
› 災害救助
› 将来の世代の技術および科学教育
› Infineon所在地での社会的ニーズ

支援は、金銭、金銭以外の寄付、後援を通じて行います。

当社が寄付を行うのは、サービスや当社にとって有利な決定、または見返りとしての決定を期待してのことではありません。すべての寄付および後援は、透明性のある承認プロセスを経て行われます。規定の詳細については、グローバルルール「コーポレートシチズンシップおよびスポンサーリング」を参照してください。

Infineonは原則として、政党、政治家、政治団体に対して寄付を行いません。

8. 企業行動指針を確実に遵守する

8.1 BCGに関するトレーニングに定期的に参加する

BCGを周知し、従業員が常に留意できるように、Infineonは定期的に従業員向けコンプライアンストレーニングコースを開講し、BCGの内容と守らなければならない法的要求事項について説明しています。また、個々のリスクグループの従業員向けに、特別なコンプライアンストレーニングセッションも設けています。

コンプライアンストレーニングへの参加は、すべての従業員に義務付けられています。

8.2 不正行為を見つけた場合は積極的に報告する

InfineonのBCGの目標を達成するには、すべての従業員が自分の役割を果たす必要があります。マネージャは、責任の範囲で従業員にBCGを理解させ、守らせます

BCG、法令または社内規定に違反している疑いがあることに気付いた場合、従業員はためらうことなく報告することが期待されています。一致団結して、従業員および当社へのダメージを防ぐためです。

コンプライアンス違反の疑いを報告するには、さまざまな方法があります。

› 1. マネージャに報告
› 2.「コーポレートコンプライアンス責任者（Corporate Compliance Officer）」、または担当の「地域コンプライアンス責任者（Regional Compliance Officer）」に報告
› 3. 内部通報ポータル「Integrity Line」

2番目と3番目の選択肢は従業員にのみ開かれているわけではなく、供給業者、顧客、その他のサードパーティにも開示されます。

報告は、口頭または書面で、名を名乗りまたは匿名で提出することができます。コンプライアンス部門へのすべての報告は、文書化され、調査され、機密として扱われます。内部告発者は、期限内にフィードバックを受け取ります。

善意からコンプライアンス違反の疑いを報告した従業員は、報告した違反がなかったとしても、不利益を被ることはありません。当社は、内部告発者に対するいかなる報復も容認せず、毅然とした態度で告発者を保護します。また、不正行為を疑われた従業員も公正に扱われます。したがって、自分自身が間違いを犯した場合もできるだけ早く報告することが求められます。

当社では、透明性を非常に重視しています。間違いを適時に見つけて対応することで、小さな問題が大きな問題につながるのを防ぐことができます。そのため、従業員には、BCG、法令または社内規定への違反の疑いに関連して、当社が開始した調査や問い合わせについて、無条件で協力することが求められます。



概要

› BCGに関するトレーニングに参加する
› 不正行為が疑われる場合は積極的に報告する
› 規則違反に対しては、常に適切な方法で断固たる措置を取る
› 連絡先データ

8.3 不正行為に対して公平かつ公正な手段で措置を取る

不正行為が証明された場合は、社内規定および法規に従い、公平かつ公正な手段で断固たる措置を取ります。その一環として、常に適切な対応を行い、それぞれの事例に適切、必要、かつ合理的な結論を出します。

8.4 InfineonのBCGについての問い合わせ先

コンプライアンス関連の懸念事項を報告する場合、またはアドバイスを求める場合は、次のオプションがあります。

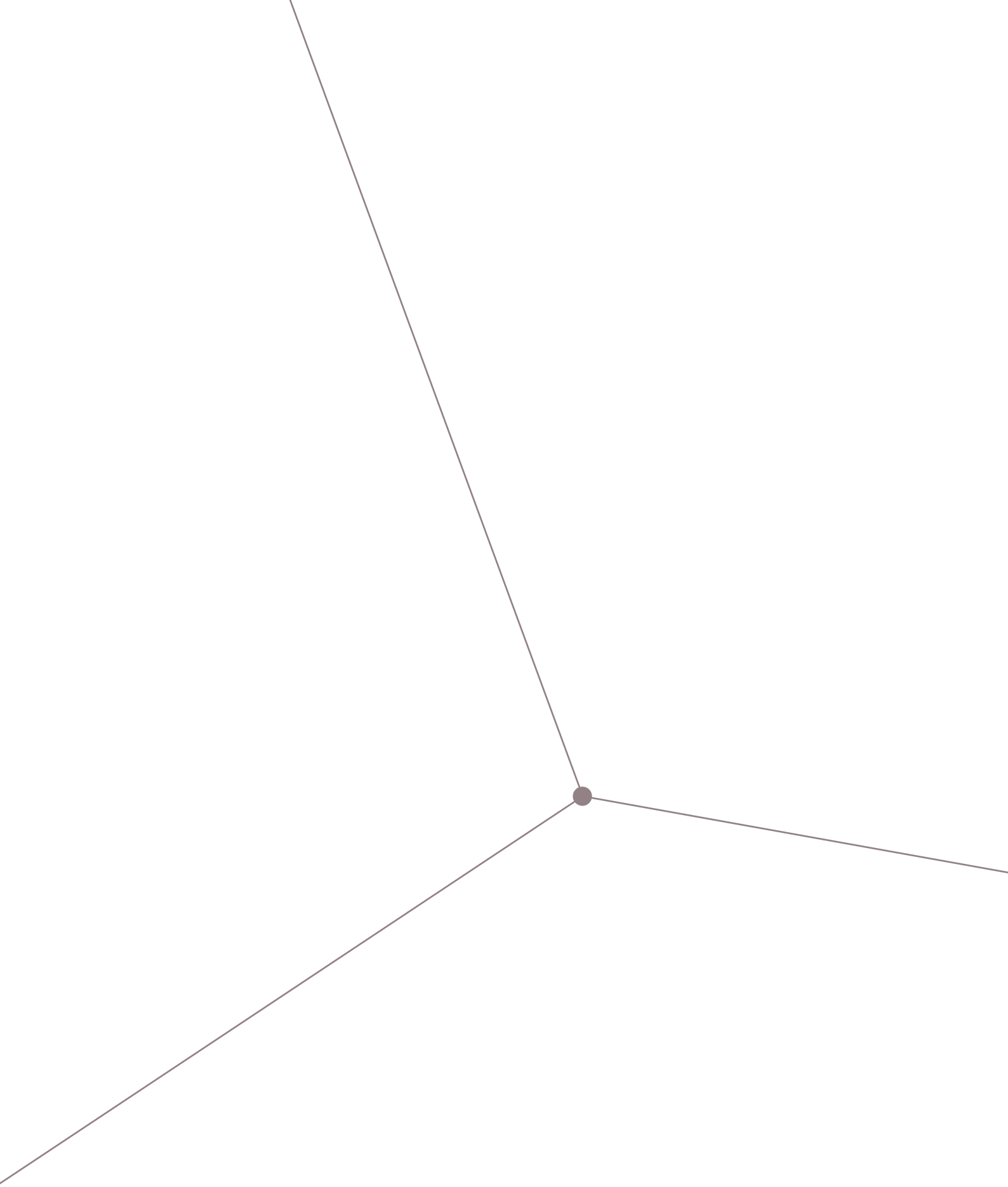
電子メール：Compliance@infineon.com

電話：+49(0) 89 234 83199

郵送：Infineon Technologies AG, IFAG CO,
Am Campeon 1-15, 85579 Neubiberg, Germany

Infineon Integrity Line

Infineonのコンプライアンスプログラムの詳細についてはイントラネットで確認できます。



www.infineon.com

Published by
Infineon Technologies AG
Am Campeon 1-15, 85579 Neubiberg
Germany

© 2023 Infineon Technologies AG
All rights reserved.

Public

Order number: B179-I0262-V5-5A00-JP-EC
Date: 01 / 2023